



2016年10月期 決算説明資料

2016年12月15日(木)
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

◆ **2016年10月期 決算の概況** **P03～09**

◆ **2017年10月期 業績見通し** **P10～20**



2016年10月期 決算の概況

業績のポイント

<事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、需要減少が続く。
また、熊本地震の影響で生産、出荷は大幅減
- ◆ 露光装置市場は、半導体は弱含みの一方、
有機EL向けは好調

<当社業績>

- ◆ 光事業は、デジタルカメラの実需減少により、
光学機器用レンズ材の需要が低調に推移し、営業赤字
- ◆ エレクトロニクス事業は、有機EL露光装置向け需要で増収、
石英ガラスの製品ミックス改善で増益

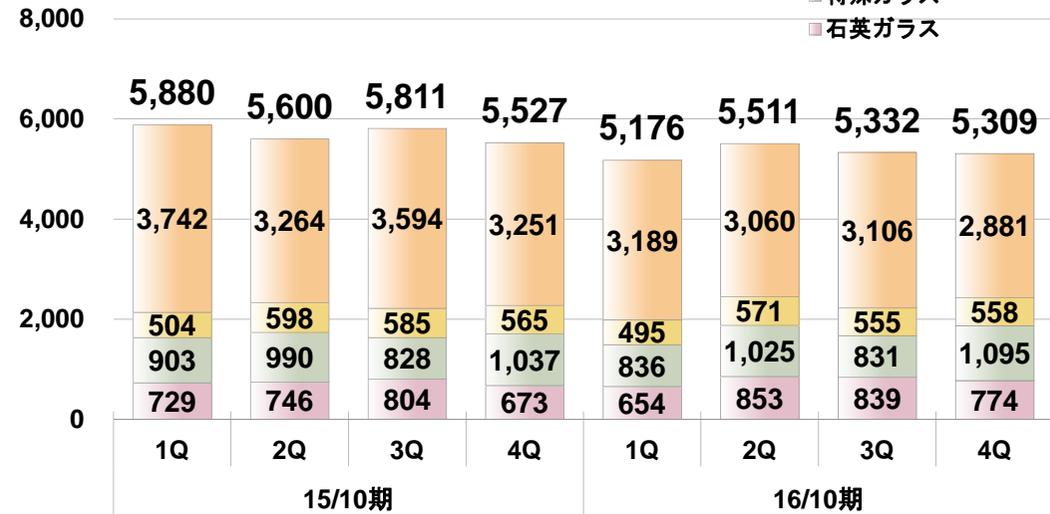
業績サマリー

(単位:百万円、%)

	15/10期 通期	16/10期 通期	増減
売上高	22,820	21,329	△1,490 △6.5%
営業利益	538	143	△394
[営業利益率]	2.4%	0.7%	△73.3%
経常利益	1,316	△84	△1,400
[経常利益率]	5.8%	△0.4%	—
純利益 (親会社株主に帰属)	545	△372	△917
[純利益率]	2.4%	△1.7%	—
為替レート 円/1USD	期中平均 120.42	期中平均 110.43	
円/1EUR	136.59	122.35	

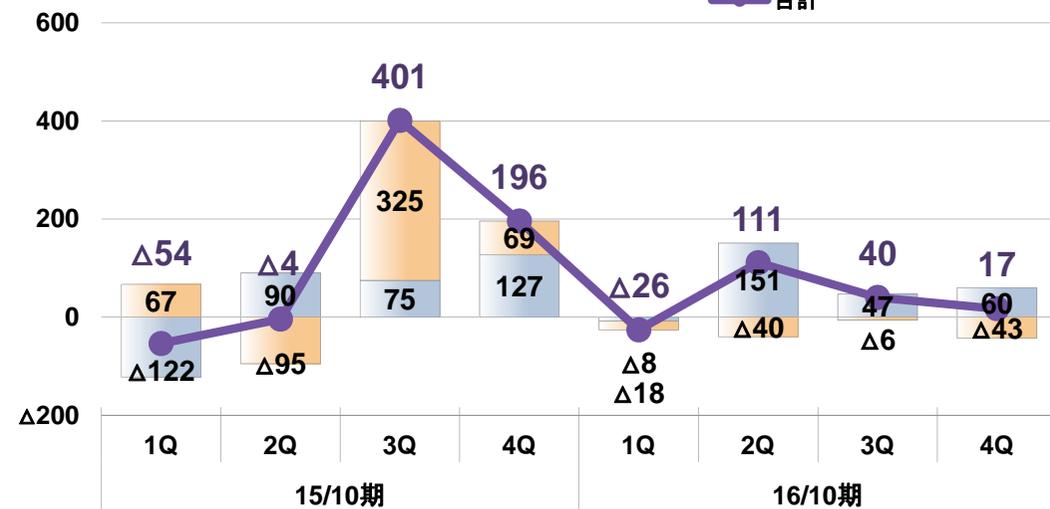
<売上高四半期推移>

(単位:百万円)



<営業利益四半期推移>

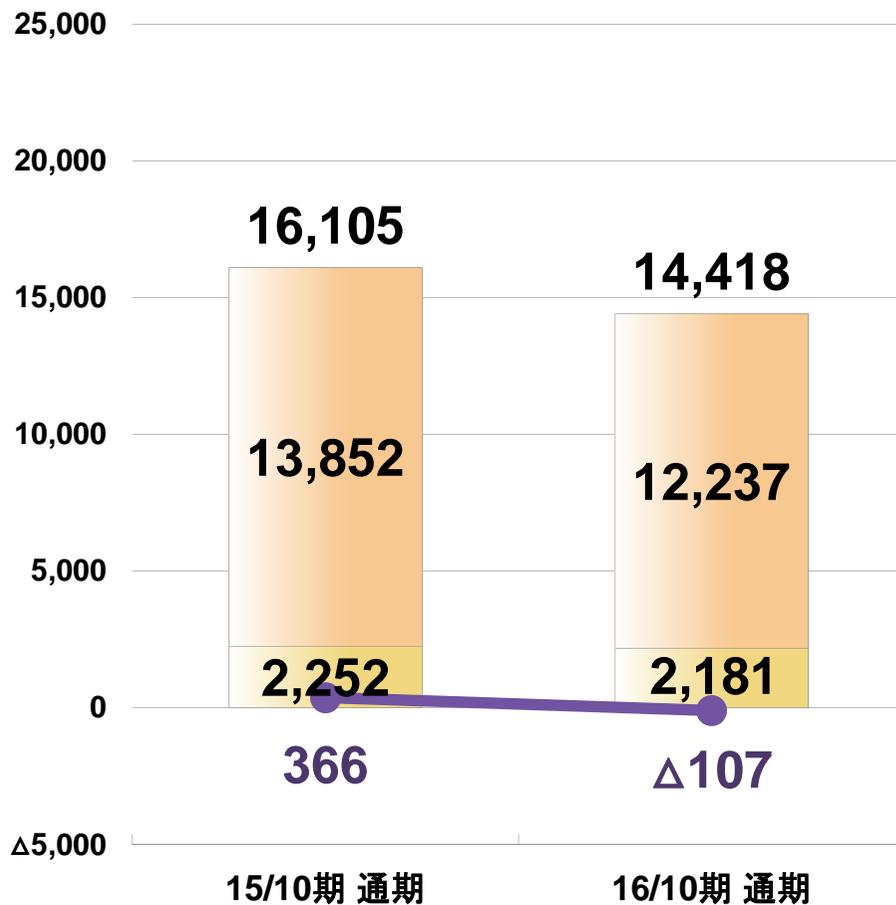
(単位:百万円)



<通期対比>

(単位:百万円)

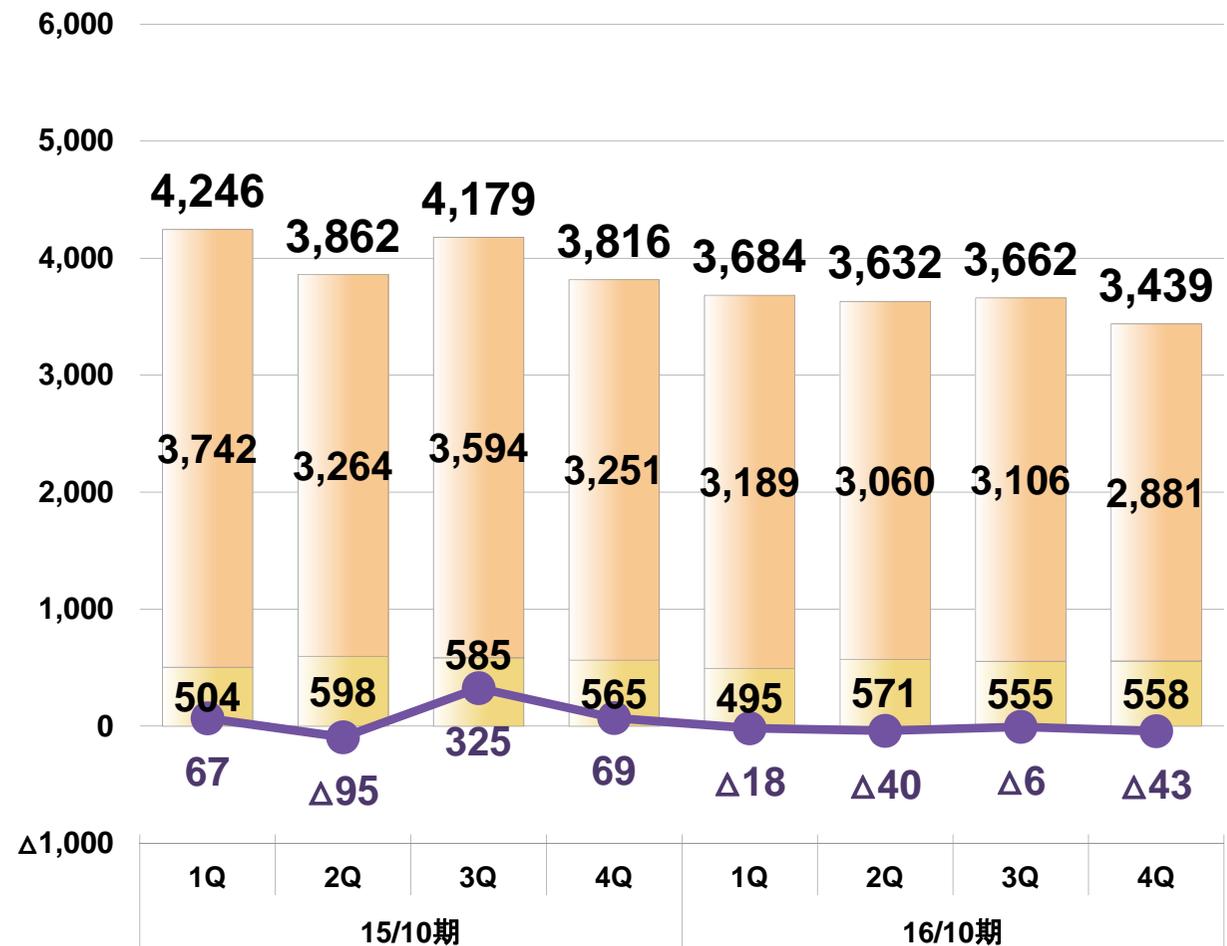
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<四半期推移>

(単位:百万円)

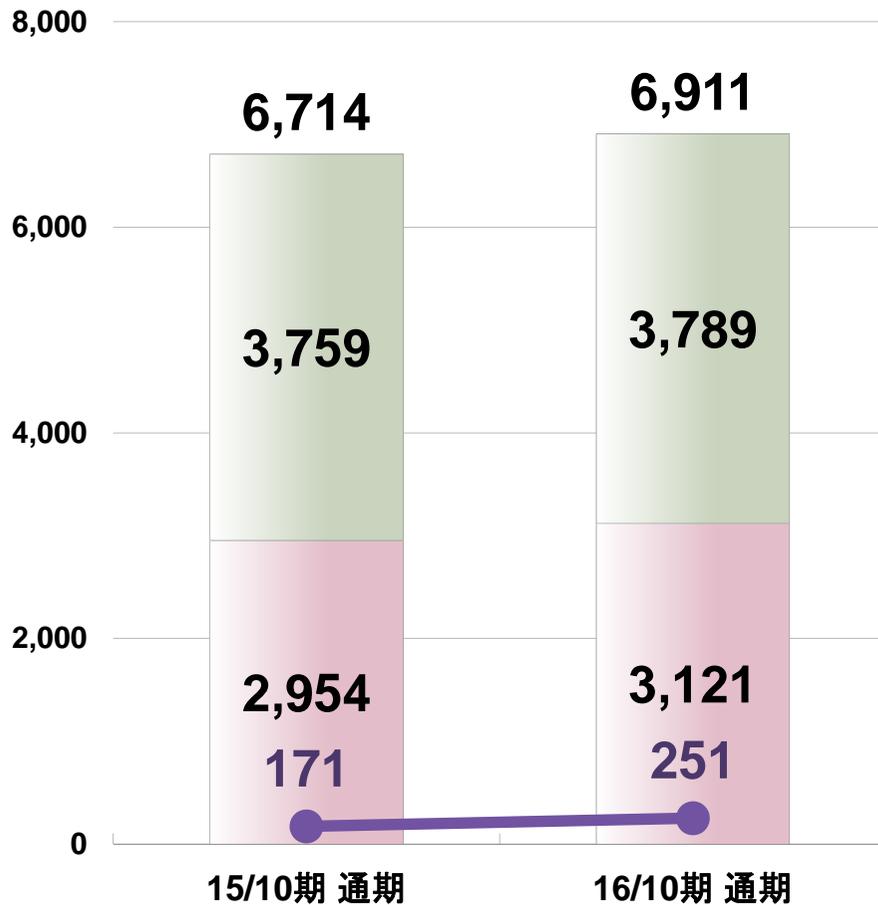
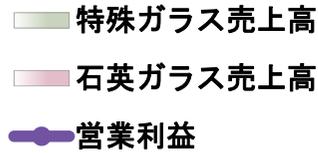
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



エレクトロニクス事業

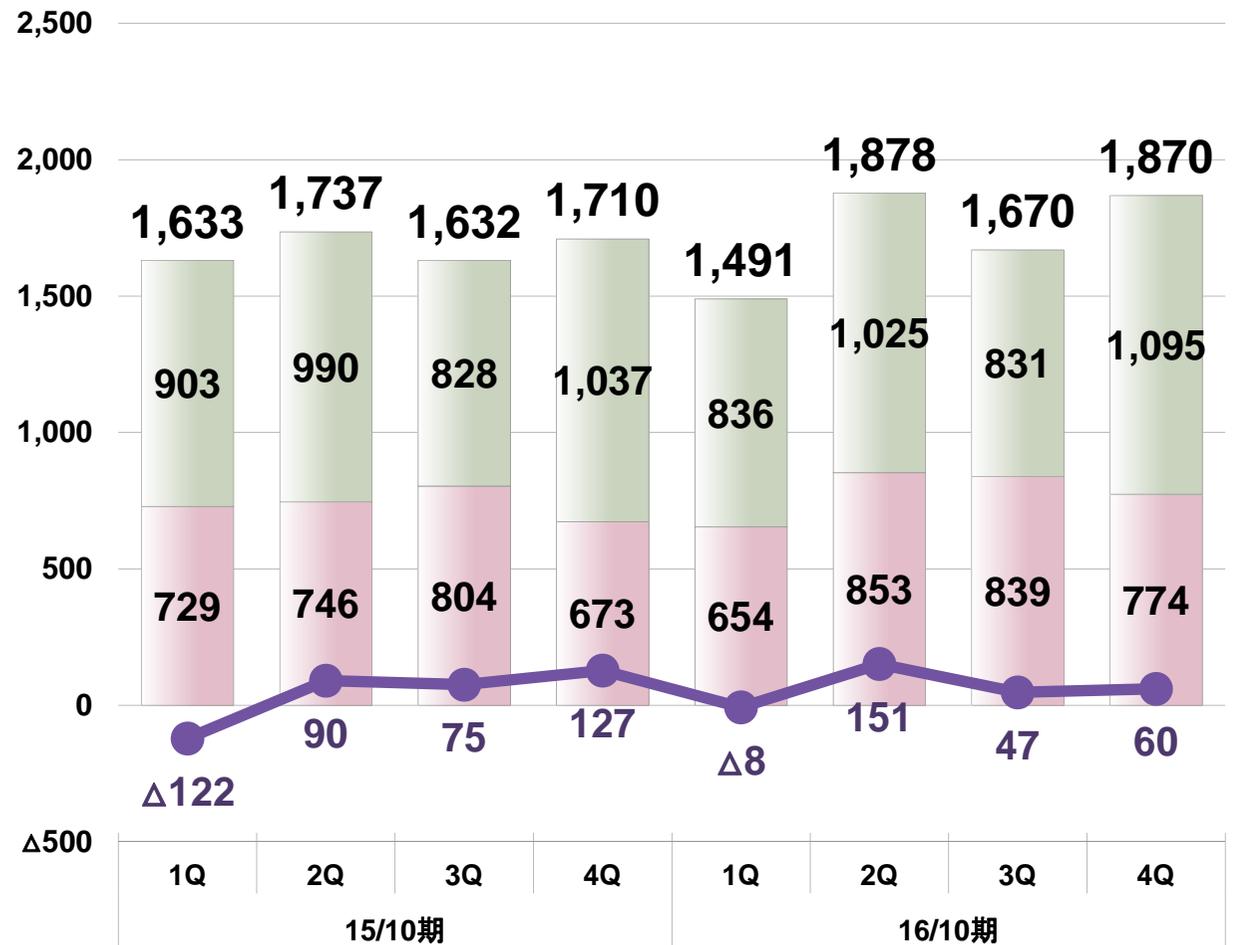
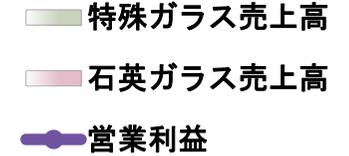
<通期対比>

(単位:百万円)



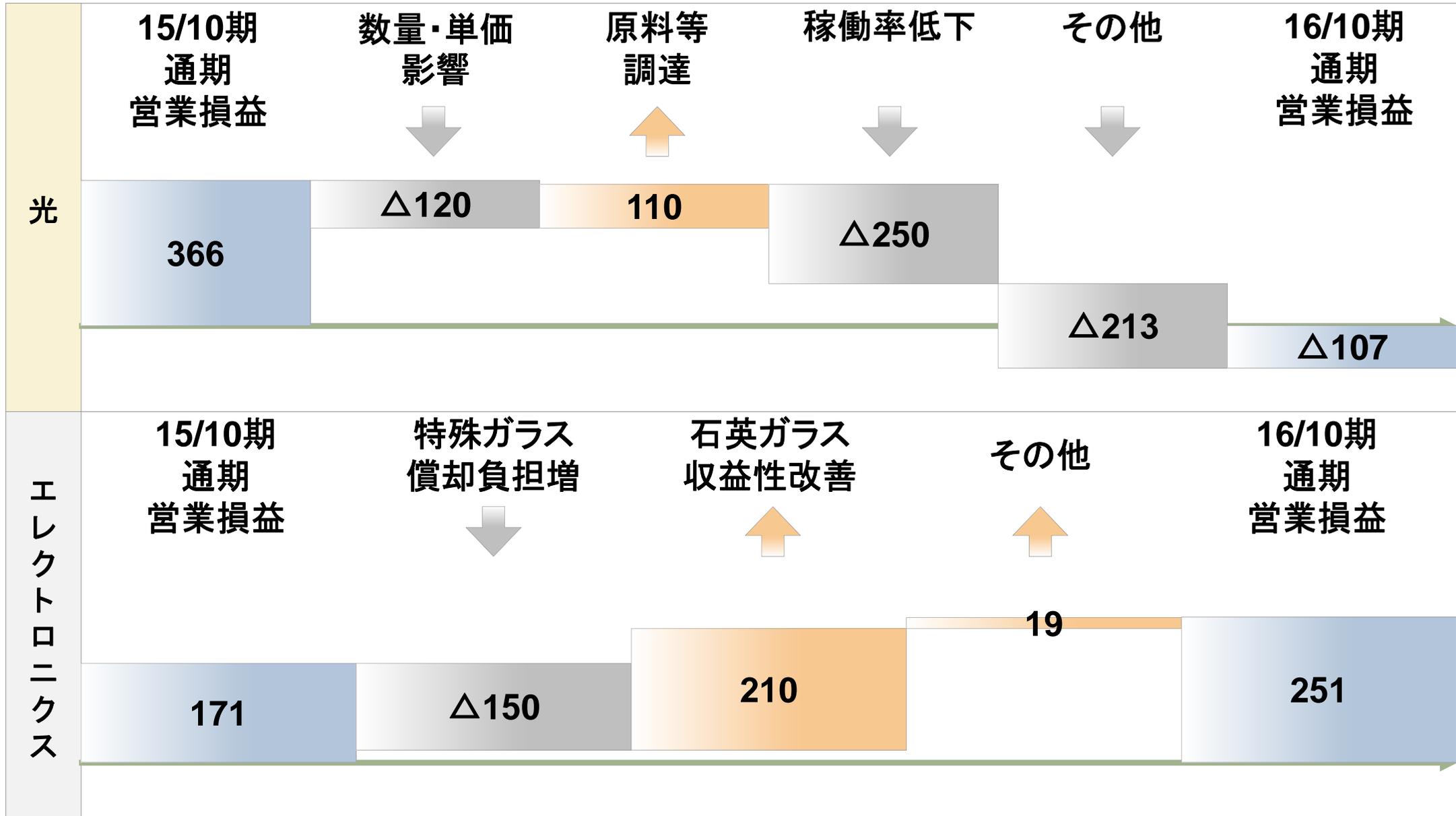
<四半期推移>

(単位:百万円)

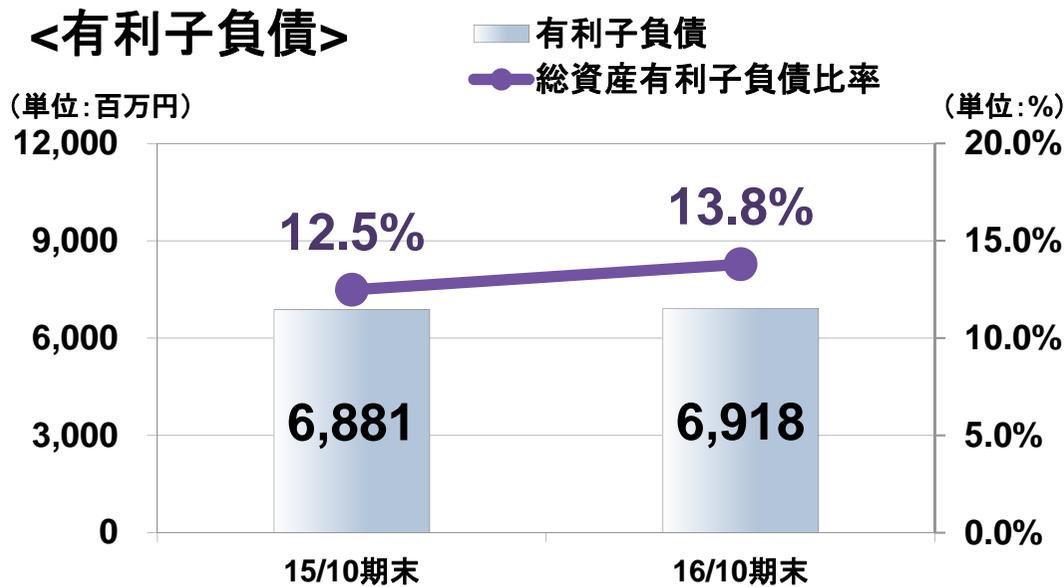
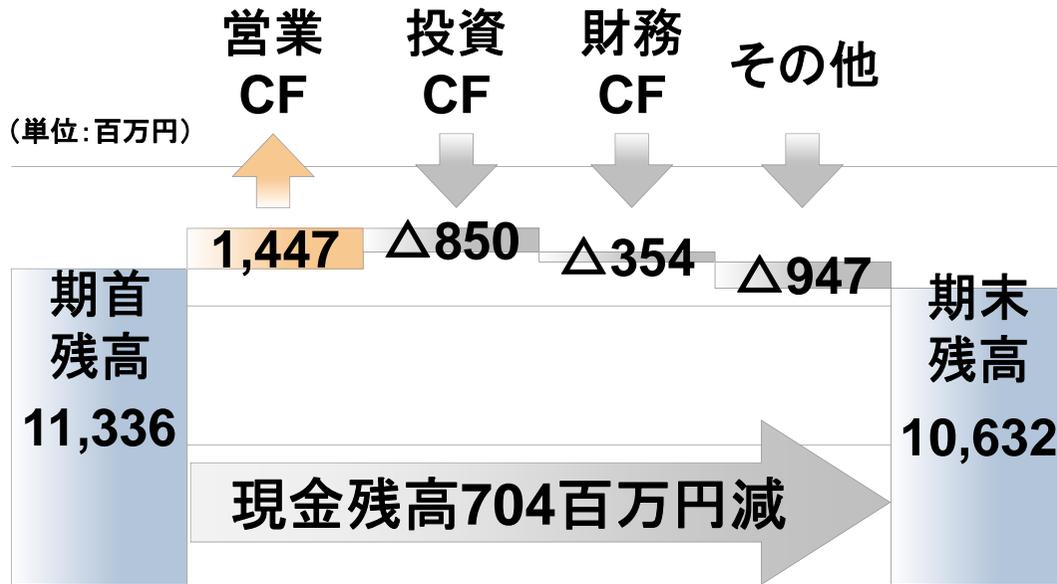


営業損益増減要因

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

営業CF増減主要因

税金等調整前純利益	△84
減価償却費	1,594
為替差損益	271

投資CF増減主要因

固定資産の取得	△1,663
固定資産の売却	307

財務CF増減主要因

借入金の返済	△1,104
配当金	△363
リースバックによる収入	1,113



2017年10月期 業績見通し

見通しサマリー

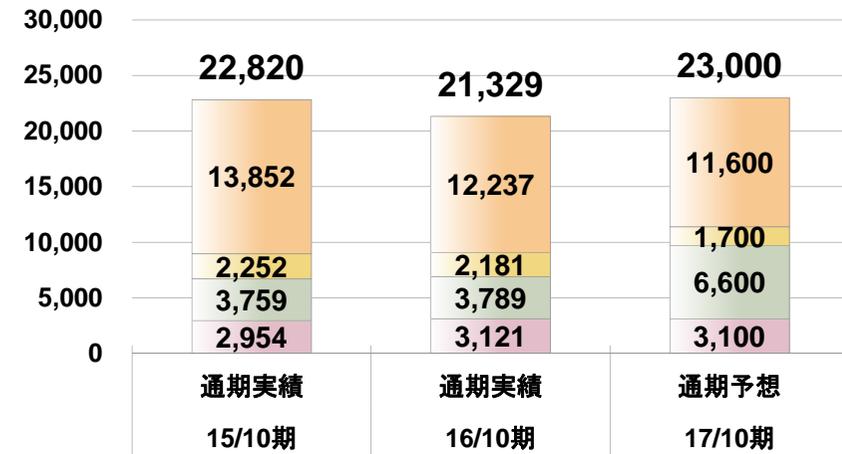
(単位: 百万円、%)

	16/10期 通期実績	17/10期 通期予想	増減	17/10期 上期予想
売上高	21,329	23,000	1,670 7.8%	10,600
営業利益	143	900	756	180
[営業利益率]	0.7%	3.9%	525.8%	1.7%
経常利益	△84	1,170	1,254	320
[経常利益率]	△0.4%	5.1%	—	3.0%
純利益 (親会社株主に帰属)	△372	880	1,252	240
[純利益率]	△1.7%	3.8%	—	2.3%
為替レート 円/1USD	期中平均 110.43	期中平均 105.00		期中平均 105.00
円/1EUR	122.35	110.00		110.00

<売上高内訳>

(単位: 百万円)

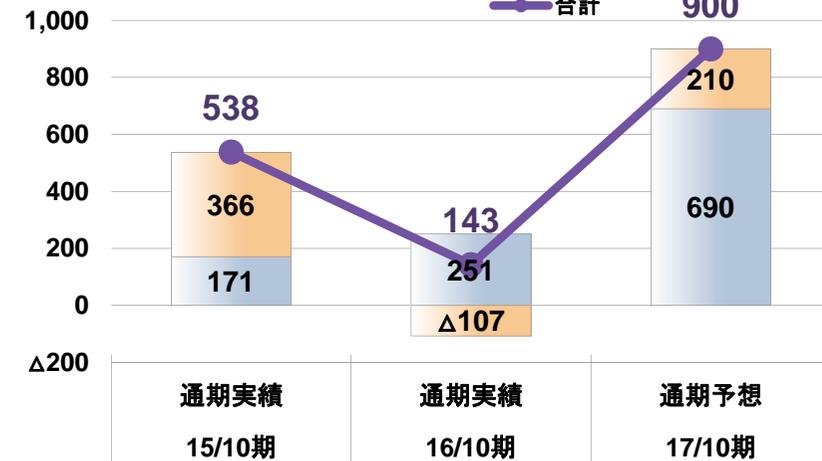
- 光学プレス品
- 光学ブロック品
- 特殊ガラス
- 石英ガラス



<営業利益内訳>

(単位: 百万円)

- 光事業
- エレクトロニクス事業
- 合計



光事業見通しのポイント

<事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、減少率こそ鈍化するものの、コンパクト、レンズ交換式ともに縮小が進む
- ◆ プロジェクター、監視カメラ、車載カメラなどは高精細化が進展し、高品質な光学ガラスの需要が拡大

<当社状況>

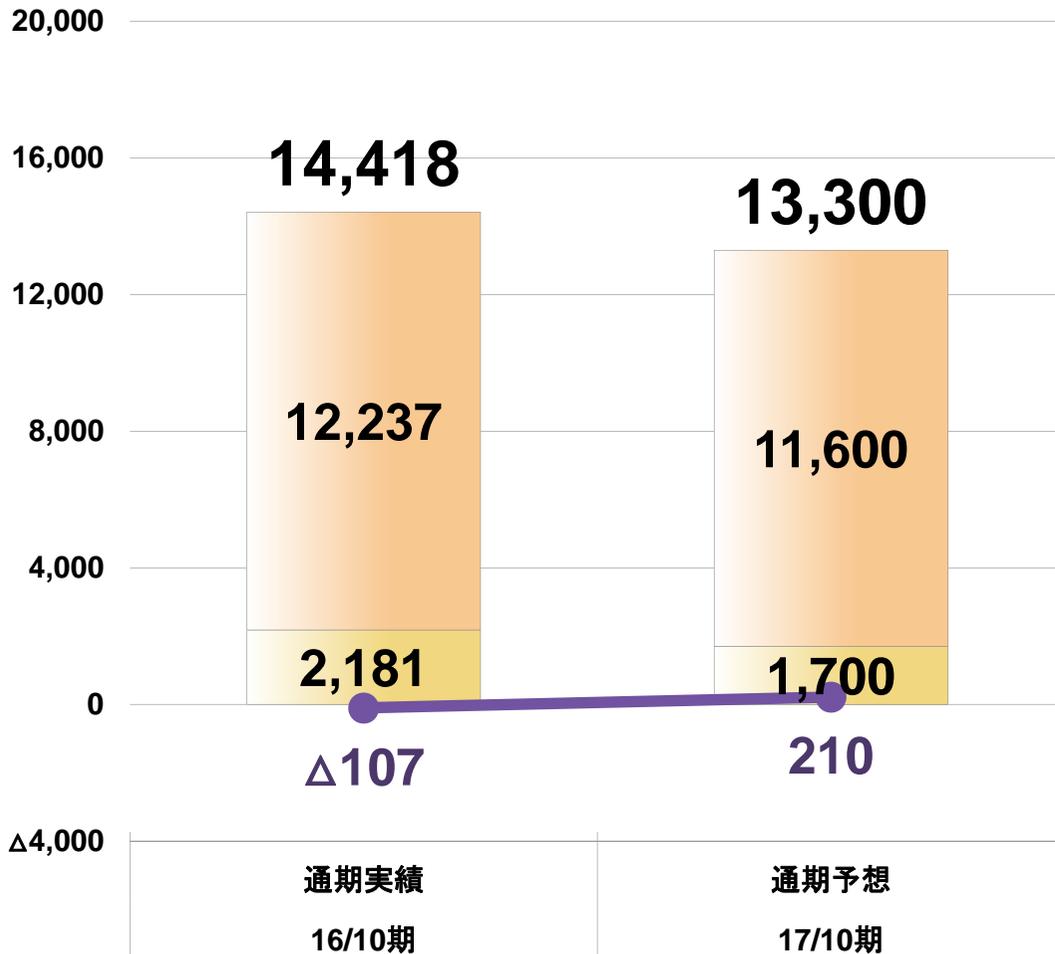
- ◆ 市場の縮小に合わせて、生産設備をエレクトロニクス事業へ移管するなど、規模の適正化を推進し、収益確保を狙う
- ◆ 高品質光学ガラスの新製品投入や、レンズ加工品のラインナップ強化などにより、利益率向上を目指す

光事業見通し

<通期対比>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<半期対比>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



<事業環境>

- ◆ 露光装置市場は、有機EL向けが好調に推移、半導体向けも需要の回復に期待
- ◆ 大型天体望遠鏡など、宇宙・天文関連の需要は、堅調に推移する見込み

<当社状況>

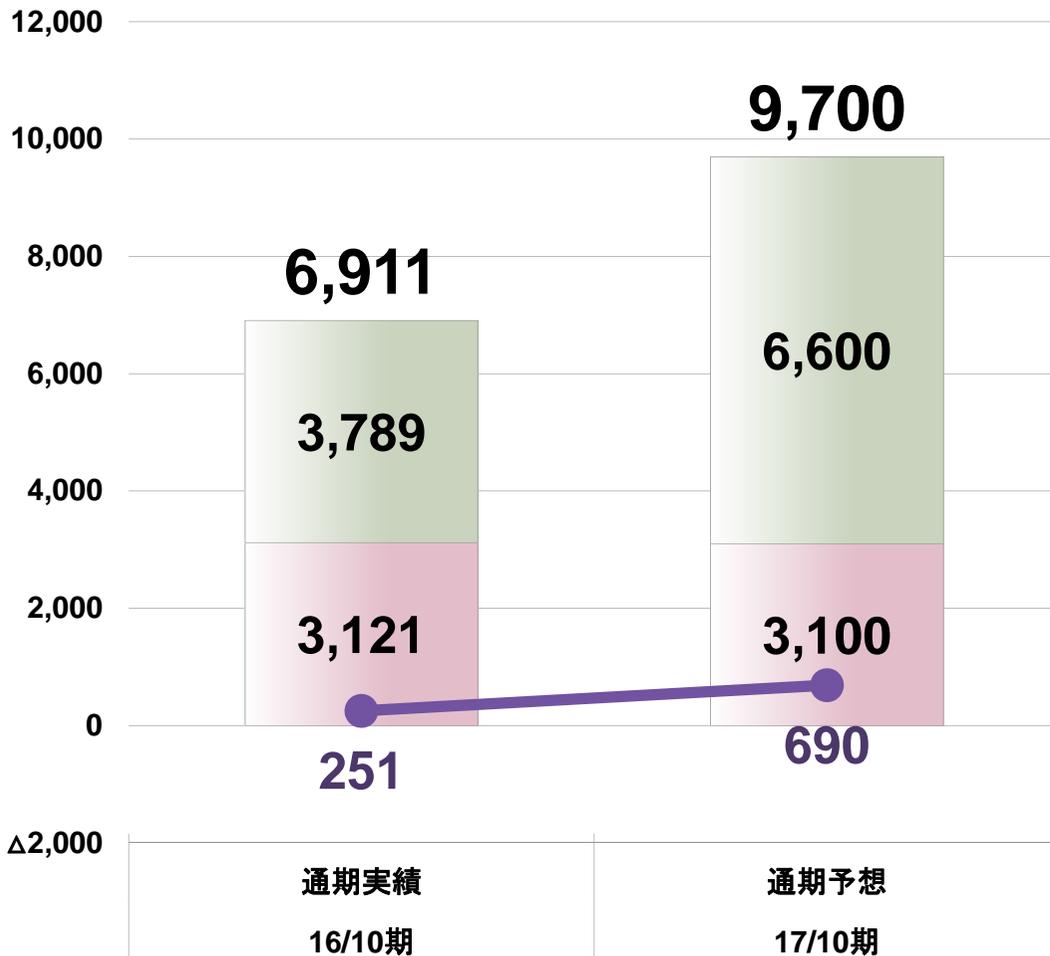
- ◆ 耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」の量産体制を確立し、スマホ向けカバーガラスへの採用狙う
- ◆ 特殊ガラスや石英ガラスは、有機EL露光装置などの需要を着実に取り込む

エレクトロニクス事業見通し

<通期対比>

(単位:百万円)

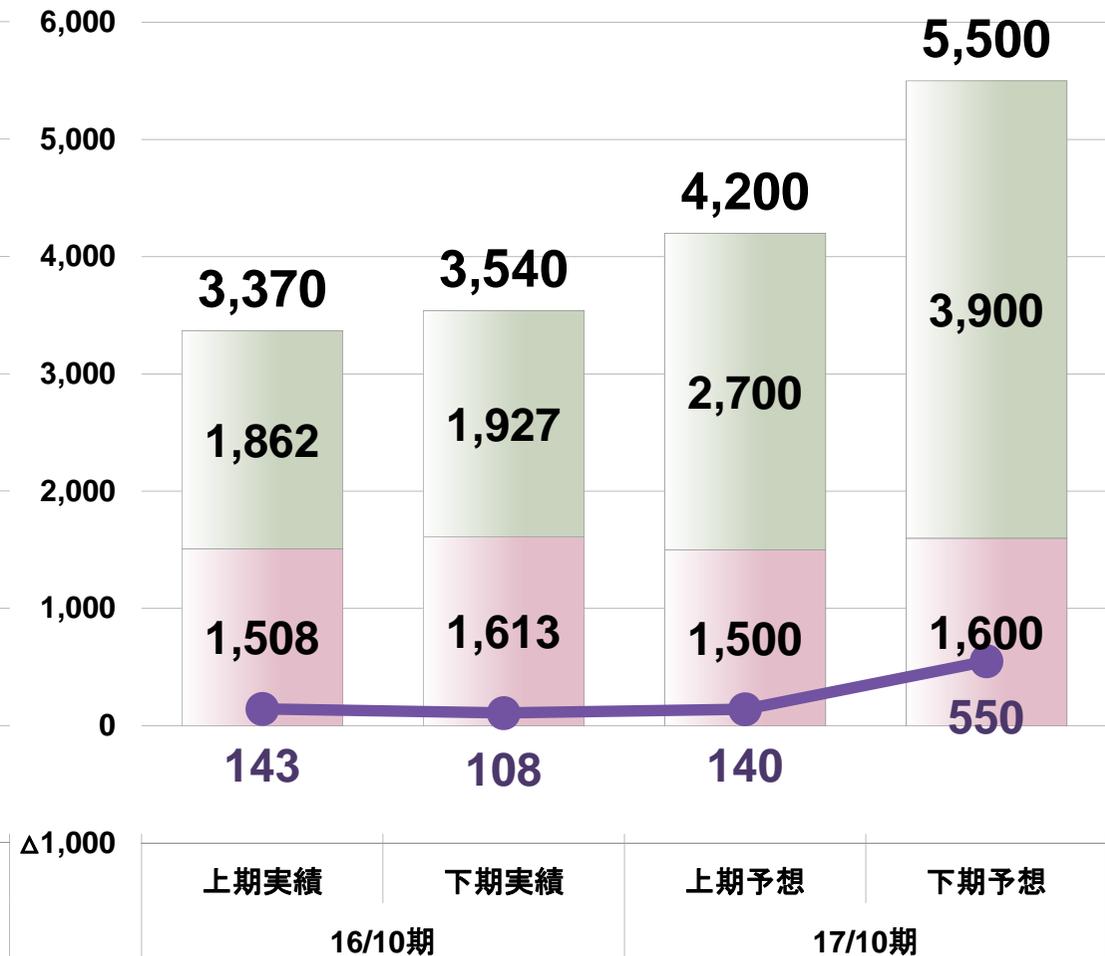
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



<半期対比>

(単位:百万円)

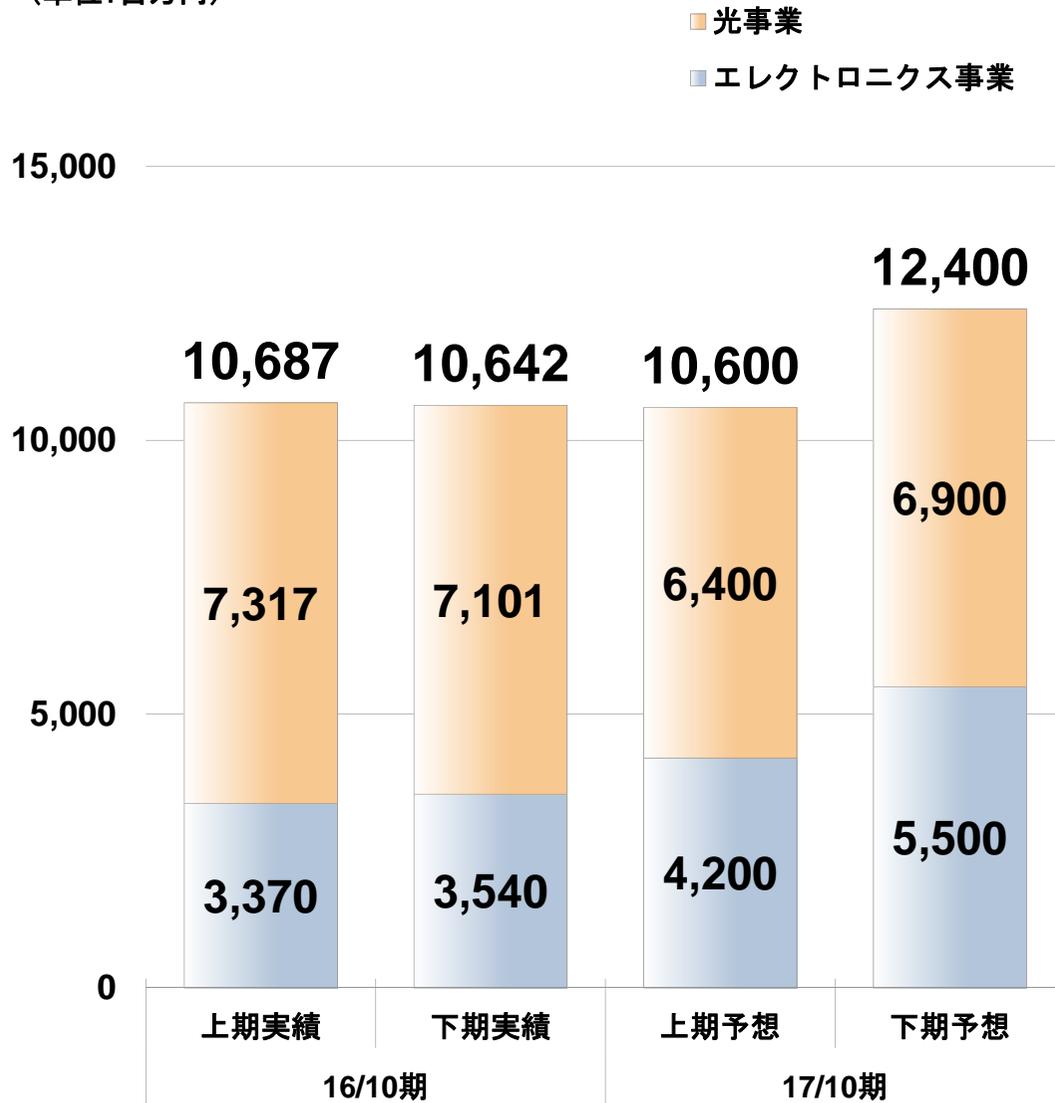
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



見通し数値まとめ

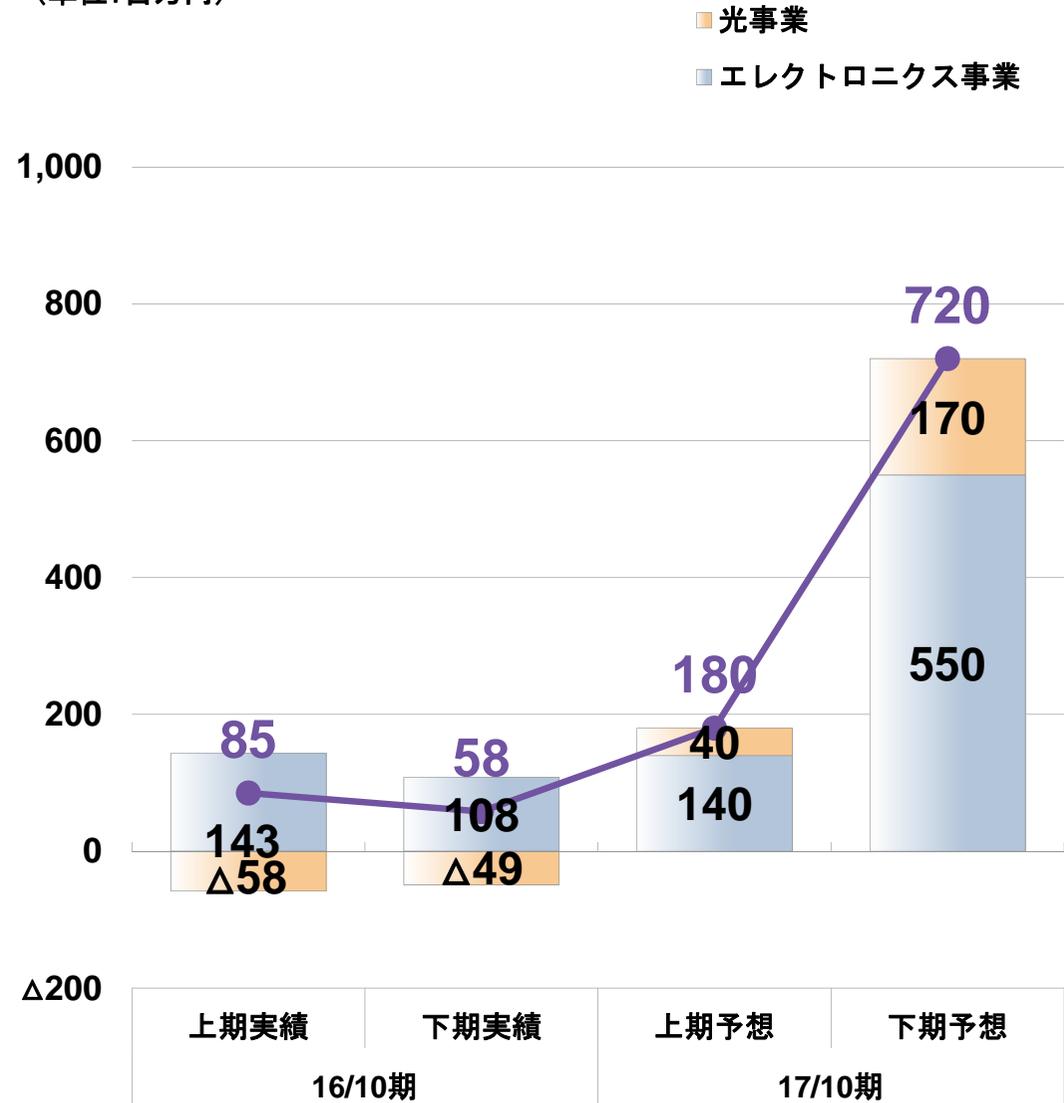
売上高

(単位:百万円)

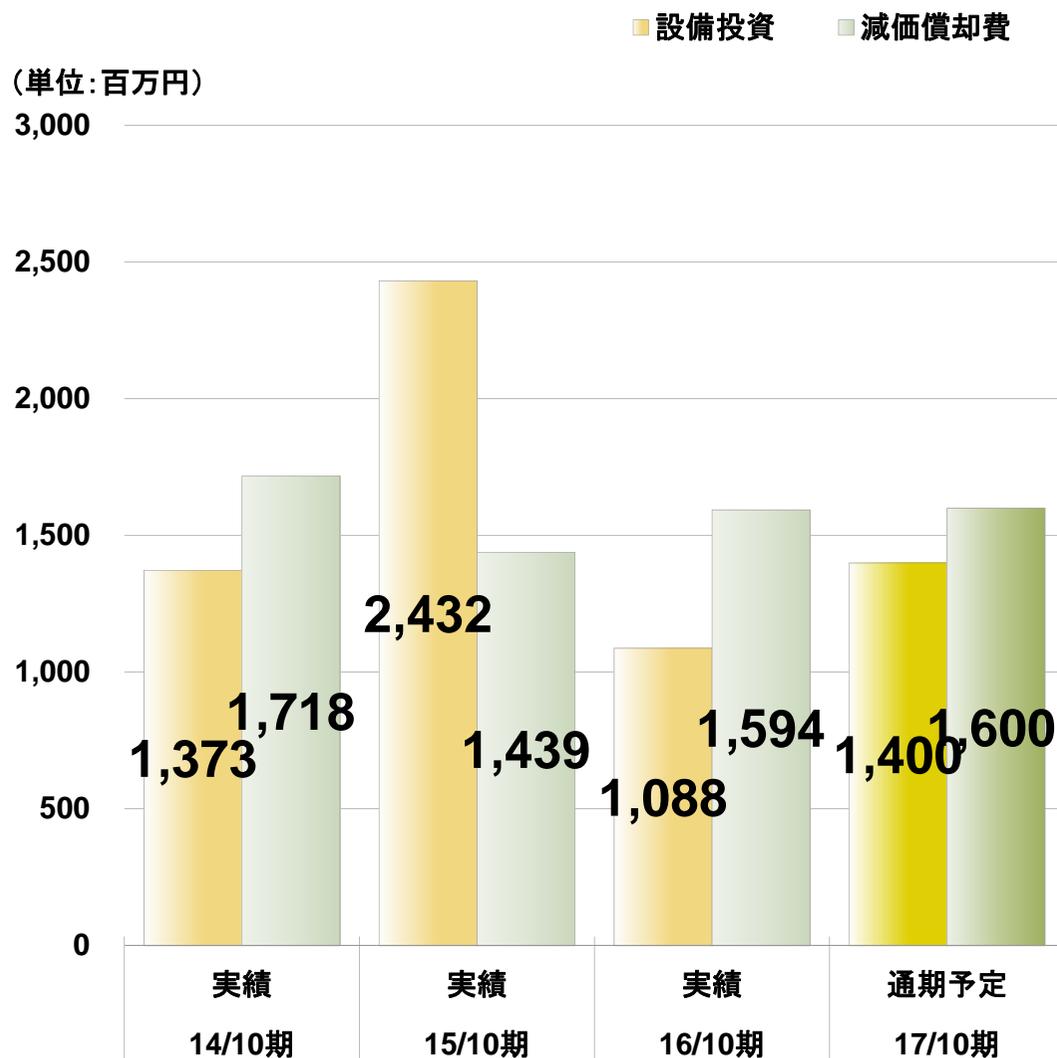


営業利益

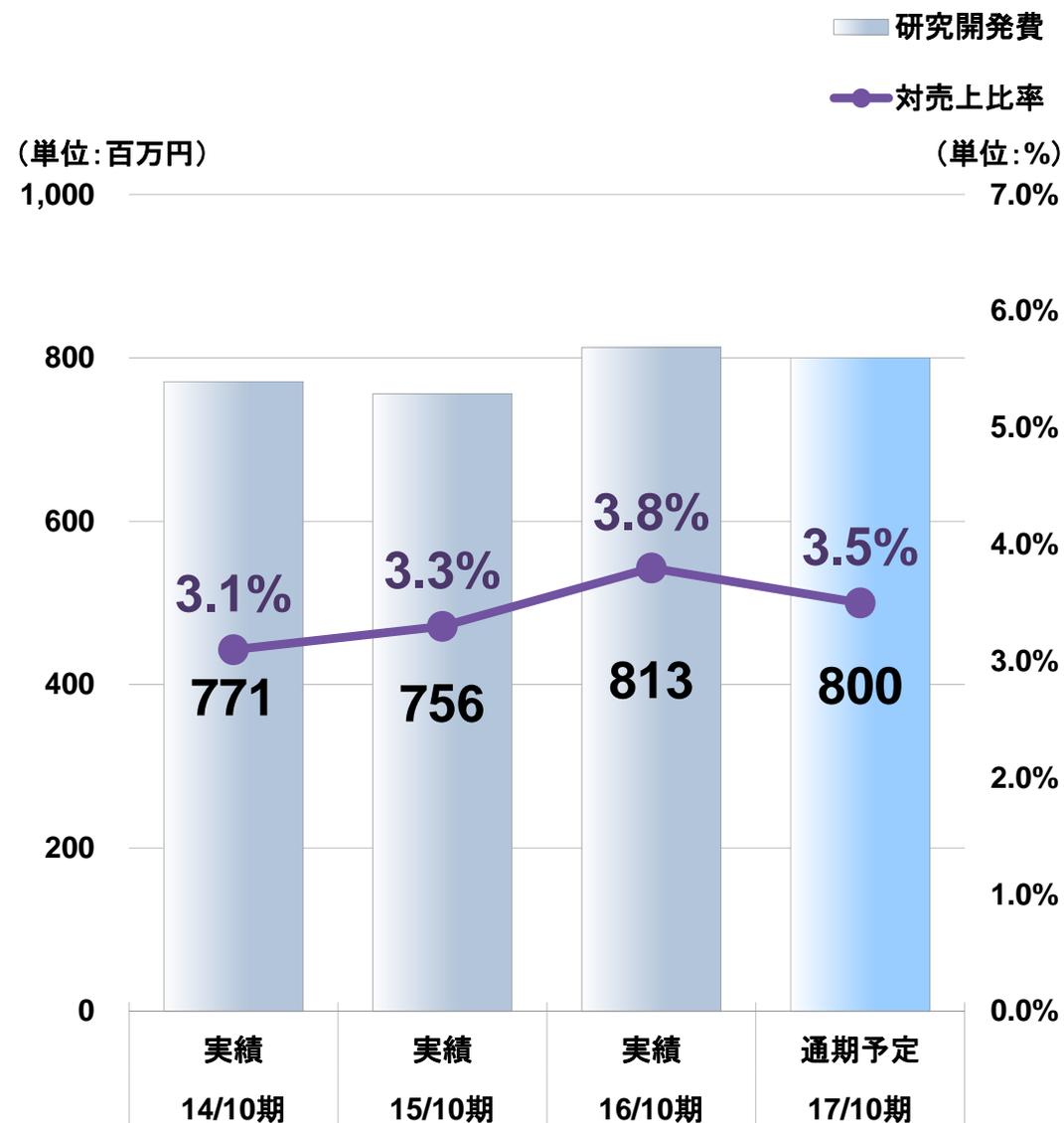
(単位:百万円)



設備投資、減価償却費

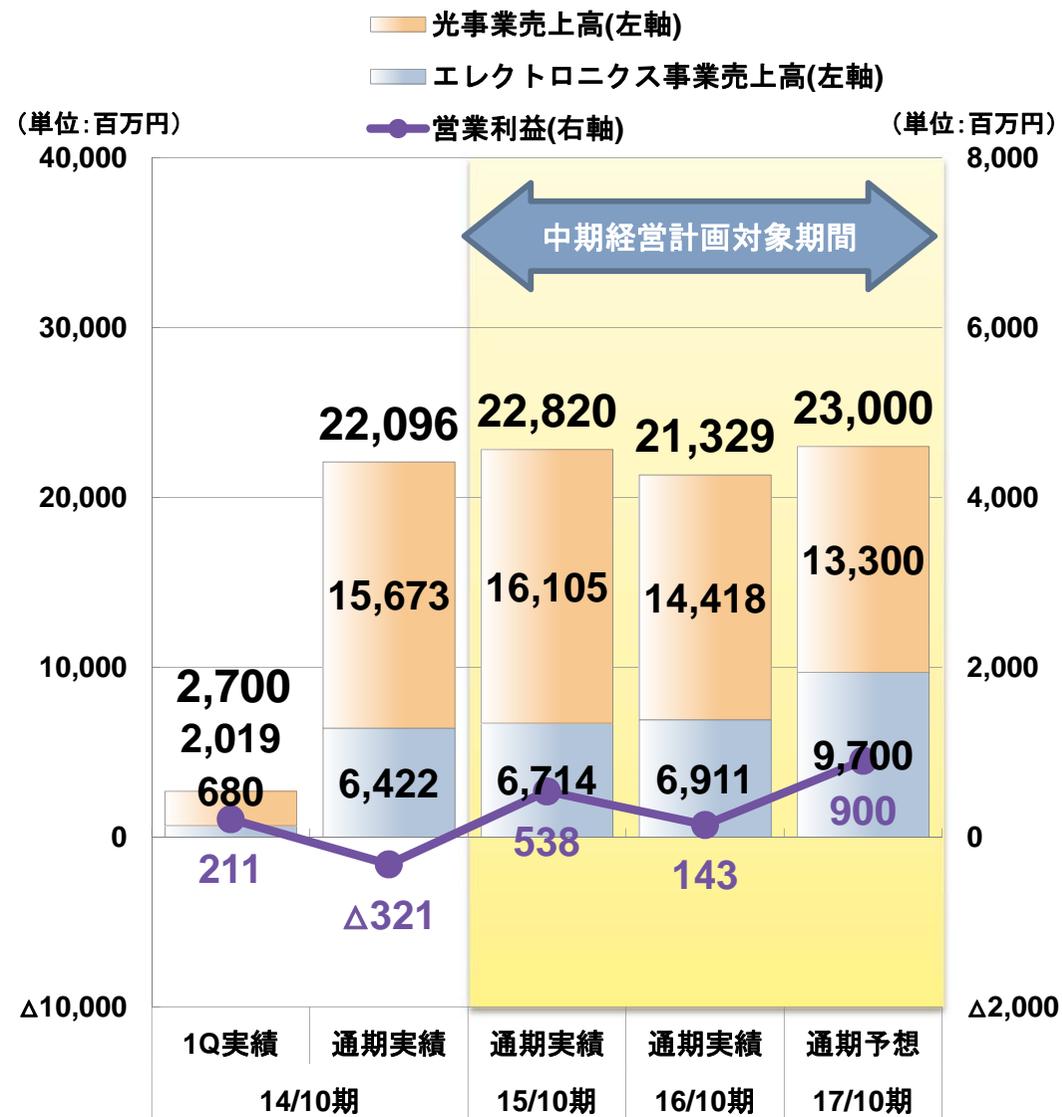


研究開発費



中期経営目標

	17/10期	
	中計目標	業績予想
売上高	240億円以上	230億円
営業利益	10億円以上	9億円
ROA (総資産経常利益率)	2%以上	2%以上
総資産 有利子負債比率	12%以下	12%以下
エレクトロニクス 事業売上高比率	30%以上	42%



※14/10期は、子会社決算期の統一に伴い、子会社の9-10月業績を1Qに取り込んでおり、本グラフではその分を「1Q実績(9-10月)」として別掲しています

トピックス：ナノセラム™進捗①

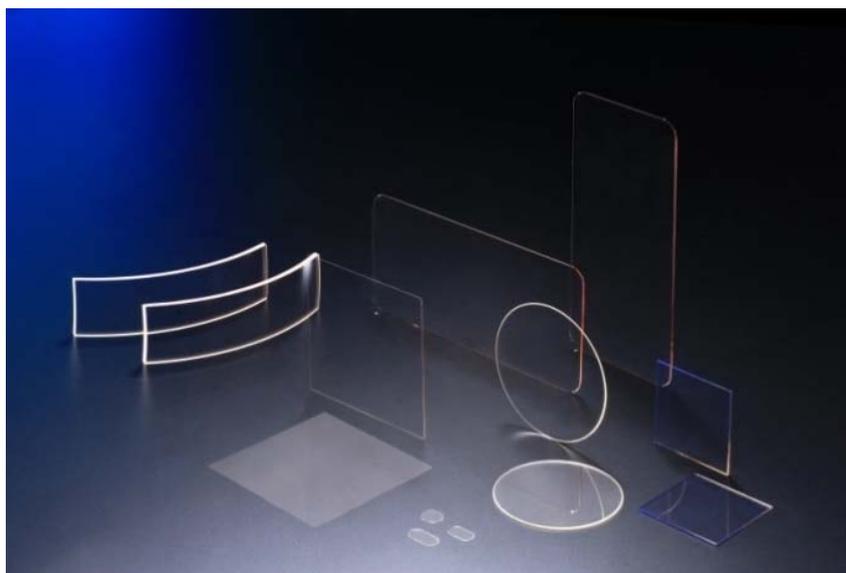
- ◆ エレクトロニクス商社、エレマテック社の技術協力を得て、スマートフォン用液晶保護ガラスフィルムに採用
- ◆ 大手スマートフォン用アクセサリメーカー、パワーサポート社より、「史上最強のガラスフィルム」として、2016年12月下旬発売予定



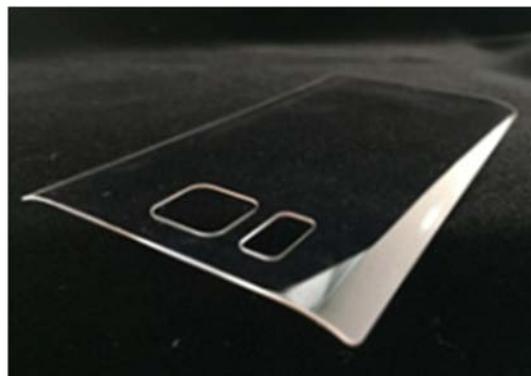
製品名	新世代Glass Film GT
予約販売開始日	2016年12月15日
発売日	2016年12月下旬予定
対応機種	iPhone 7、iPhone 7 Plus
製品紹介サイト	https://www.pawasapo.co.jp

◆ 今後、スマートフォン向けカバーガラスの採用を目指す

<ナノセラム™>



スマートフォンカバー3D加工例



スマートフォン筐体3D加工例



OHARA